

とよた森林学校OB会

調査団体名 : とよた森林学校OB会
 設立年 : 2010(平成22)年
 団体URL : http://www.woodytoyota.net/gakkou/0_index.html
 活動拠点 : 愛知県豊田市および広域
 取材日 : 2013年11月21日

団体代表者名 : 山本薫久
 対応してくれた人の名前 : 山本薫久、高部ほなみ
 調査員 : 沖 章枝、松井賢子、長澤壮平
 レポート作成者 : 長澤壮平

活動内容

『とよた森林学校』の修了生たちが任意に集まり、OB会として組織化した。幹事は、山主から2人、観察リーダーから2人、森林ボランティアから2人、その他から2人を選んで、多様な人に担ってもらうようにしている。

- 自然観察会:リピーターの受け皿として、そして森林学校ではカバーできない地域外のフィールドなどで、自然観察会を行っている。また、「樹木観察会」は、この地域の樹木を学習する趣旨で開講している。
- 間伐モニタリング調査:間伐ボランティアが施業した場所の間伐前、間伐後の推移を調査している。
- 間伐技術ステップアップ講座:森林ボランティアの技術向上のための講座を行っている。
- 木工教室:間伐材でベンチを作っている。

キャッチフレーズ

手弁当で応援する豊田の森づくり

会のモットー(何を大切にしているか)

受講者が自分で何かやっというときの一つの手がかりになればという思いでやっている。

設立から現在に至るまで変化したこと

最初は70人くらいだったが、会員が徐々に増えてきている。現在は概ね150人くらいで推移している。

連携している団体・専門家・自治体など

とよた森林学校とは常に連携を保っている。

現在直面している課題

山主に間伐技術ステップアップ講座を受けてほしい。間伐ボランティアはあらかじめつながりがあるのでいろいろと情報が回るが、山主には森林学校の講座を受けた後のフォローがないので、そこが課題でもある。

今後やってみたいこと

子持ちのお母さんたちは、自然観察会などには参加しにくい状況。そこで、歩けるくらいの子であれば、同伴で参加できるような親子の自然観察会をやりたい。これができるのはOB会じゃないかと思っている。

そのためにはどんな情報・人脈が必要か

保母の資格をもっている人などに、お願いできるかもしれないと思っている。

チームオリジナルの質問

<質問内容> 運営を自立的にやるうえでの経済的な苦勞は？

<答え> メインの講師もほとんどボランティアで来ていただいており、会報の発送もとよた森林学校に同封していただいているので、経済的にはあまり問題ない。

その他、伝えたいこと

交流会を開くなど、外部と広く交流していきたい。

写真



OB会の活動風景